

まだ暑くなる日もあるのですが、ここ数日は秋の風もやってきて、ずいぶん涼しくなりました。

夏の日が届けてくれたもの、秋が呼びかけてくるもの、それらの両方を感じながら、季節の移り変わりを迎えています。

夏のようにも、秋のようにもあり、まったく夏とも秋ともいい難いような、中間の季節なのかもしれません。

人の呼吸に例えるなら、息を吸う吐くのどちらでもなく、漂っているような状態に似ているのでしょうか。

この時間……転換やターニングポイントがはっきりしているのではなく、変化に向かうニュートラルなどちらでもない間がゆるやかに漂っている感じの時……が、実はとても大切な気がするのです。

もし呼吸が息を吸っているか、吐いているかのはっきりとしたどちらかの時間しかないとするなら、たちまち息をつまらせてしまうことでしょう。

さらに言うなら、「つまらせないでスムーズ」であること以上に、そのような時間……はっきりとした目的や意味や色あいなどが無い時間……があるからこそ、人は立ち止まったり、思いめぐらしたり、周囲を何気なく見回したり、過去や未来に想いを馳せたり、不思議に耳を傾けたり、謎を解き明かしたくなったり……することができののかもしれません。

今日も道すがら（年長の子のお泊り会の港への道中で）
「どうして～なの？」 「～はどうして？」という子どもたちの目をまんまるにした問いかけが、いっぱい聞かれました。

夜のキャンプファイターでは進んでいくプログラムの合間に空に向かって舞いあがっていく火の粉を一心に見つめている

子が何人もいました。

世界は不思議や謎で満ちています。
人が「今日やらなければ！」とか「～が大切！」と意味を見出していることを遙かに超えて、未知なること…存在の秘密や私たちに託されている役割、生きる意味…があるのかもしれない。

新しい9月を迎えます。

いっばいの不思議に、子どもたちが伸びやかな呼吸の中で向き合うことができますように！

大人の私たちが漂いの時間に届けられる世界からのメッセージを受けとりながら、「自分」という存在を確かめる作業を続けることができますように！

夏から秋へ…昨年と今年のなつのおまつりの言葉をもう一度共有したいと思います。

ほら耳をすましてきいてごらん

私の中で生まれた「今」が
時の響きを奏でているよ

だからいまを ゆっくり ゆったり

(2014)

心深くに眠っているものを
思い出すこと

まだ目の前に現れていないものを
心の目で見つけたすこと

決して忘れないように！

(2013)

—— 2014 お泊り会の日 ——

園長 升光 泰雄